

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定（試行事業）
試行事業病院総合医養成プログラム 年次報告書

2014年 7月 31日

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
 理 事 長 殿

以下に記載した内容で、貴学会の試行事業における病院総合医養成プログラムとして認定を更新していただけますよう申請いたします。

プログラム責任者署名（自署） 石坂克彦

1. プログラム名称			
飯山赤十字病院 訪問診療を含む総合医研修プログラム			
2. プログラム責任者			
プログラム責任者氏名	石坂 克彦	学会会員番号	
所属・役職	副院長		
所在地・連絡先	住所 〒389-2295 長野県飯山市大字飯山 226 番地 1 飯山赤十字病院 電話 0269-62-4195 FAX 0269-62-4449 E-mail katu.isizaka@gmail.com		
連絡担当者氏名*・役職	滝沢 亨 庶務課長		*プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載
連絡先	電話 0269-62-4195 FAX 0269-62-4449 E-mail syomu@iiyama.jrc.or.jp		
3. 最近1年間のプログラムの概要			
<p>・研修者の感想や、アピールポイントをお書きください</p> <p>残念ながら研修者はいませんでした。 本プログラムでの研修者を迎えられるよう努力はしています。 初期臨床研修に関係する会合でプログラムについてアピールしたり、当院に地域医療で研修に訪れる初期研修医に説明したりして周知を図っています。また、今後は信州大学、富山大学の総合診療科の講座と連携できるよう計画を進めていきたいと思っています。</p>			

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

4. 過去2年間の実績							
2012年度	新規研修開始者数		0名				
	研修修了者数		0名				
2013年度	新規研修開始者数		0名				
	研修修了者数		0名				
5. 現在のプログラム研修者該当者数（研修休止中の者を含む）							
1年目	0名	2年目	0名	3年目	0名	4年目	0名
6. プログラムにおける指導医 主たる施設における指導医以外の、関連病院の指導医は氏名の下に施設名を記載							
氏名	卒業年	専門分野・資格		専門分野・資格			
石坂 克彦	S54年	日本プライマリ・ケア連合学会指導医		日本消化器外科学会指導医			
		日本外科学会指導医		日本消化器内視鏡学会指導医			
上條 浩司	H8年	日本プライマリ・ケア連合学会指導医		日本透析医学会専門医			
		日本腎臓学会専門医		日本内科学会認定医			
福島 靖典	S58年	日本プライマリ・ケア連合学会指導医		日本循環器学会専門医			
		日本外科学会指導医		日本心臓血管外科学会専門医			
金子 清俊	S58年	日本プライマリ・ケア連合学会指導医					
7. 施設・診療科診療実績概要							
病床数 240床（内総合診療部門定床 床）							
総合診療部門外来患者実績（内科） 初診 約 324人/月 再診 約 3187人/月							
総合診療部門入院患者実績（内科） 平均 約 2434人/月							

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

8. 診療実績 研修者 1 人平均経験症例		
急性期一般病床入院	約	症例
集中治療室 (ICU)・HCU 入院症例	約	症例
外来継続診療症例	約	症例
看取り症例	約	症例
委員会活動実践事例	約	症例
教育実践事例	約	症例
研究実践事例	約	症例
9. 診療実績 研修者一人平均経験症例 領域別		
症例数不明の場合は、おおよその割合を記載してください		
研修領域	症例数もしくは割合	主な疾患名
心疾患系	約 症例	
	約 %	
呼吸器系	約 症例	
	約 %	
消化器系	約 症例	
	約 %	
代謝内分泌・血管系	約 症例	
	約 %	
神経系	約 症例	
	約 %	
腎泌尿器科系	約 症例	
	約 %	
リウマチ性・筋骨格系	約 症例	
	約 %	
皮膚	約 症例	
	約 %	
耳鼻咽喉科	約 症例	
	約 %	
その他	約 症例	
	約 %	

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

10. 研修者の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、具体的に）

- ・基本的にはOJT（On-the-Job Training）において、指導医が定期的（3カ月に1回）に絶対評価（到達度評価）を行い、記録に残す。後期研修医はすでに「家庭医療専門医」などの基本的訓練を終了しているので、当院で独自に作成した達成目標の評価項目について評価をする。
- ・指導医以外のコメディカルスタッフ（看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士）が研修医の研修態度の評価を行う。
- ・研修修了認定は、当院の教育研修推進委員会において上記「到達度評価」「研修態度の評価」から認定評価を行う。

11. プログラムの質の向上・維持の方法

- ・研修医からプログラムについてのアンケートをとり、問題点や改善すべき点があればプログラムの質の向上に反映させる。
- ・研修医に指導医の評価をしてもらい、指導方法の改善に反映させる。
- ・他施設のプログラムを参考にして当院の研修に取り入れられる内容は取り入れ、プログラムの質の向上・維持に努める。

その他、お気づきの点やご意見等ありましたら下記にお書きください

病院総合医は今後ますます必要とされるであろうし、特に私どものような医師不足の中小病院にとっては、その存在意義は非常に重要と思われれます。しかし、本事業では家庭医療専門医を取得した後に、このプログラムを行うということで、この専門医を取得できる医師の数が非常に限られてしまうという点に問題がある気がします。このような試みは重要だと思いますが、一般の医師がもっとプライマリ・ケアのマインドを持つための方法を、学会として考えていただきたいと切に願います。